

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・1年・A～H組
教科書	情報Ⅰ Next (数研出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現して効率的に問題を発見・解決する能力を養い、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次の通りを育てることを目指す。

(1) コンピュータやデータの活用についての技能を習得するとともに効果的なコミュニケーションを身につけ、情報社会と人との関わりについて理解を深める。

(2) 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(3) 情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	導入	コンピュータ・周辺機器の説明	・コンピュータやサブモニタ等の基本的な操作方法を確認する。授業内で行うタイピングについて理解する。	行動観察
	5	1 情報社会と問題解決	情報とメディア	・情報を扱ううえで情報とは何か、どのような利点と問題点があるかについて学習する。	行動観察
			情報社会における法とセキュリティ	・情報セキュリティを高めるための対策と、それを脅かす事例について理解する。	行動観察 ワークシートの分析
				・著作権問題などに留意しながら、写真画像の貼り付け、データのグラフ化など多様な情報の処理について学ぶ。	行動観察
			情報技術が社会に及ぼす影響	・情報技術の発展による危険性について、自身の情報の取り扱い方や情報との付き合い方を振り返りながら学ぶ。	行動観察
	6	2 コミュニケーションと情報デザイン	情報のデジタル表現	・コンピュータの歴史・動作原理・2進法などについて学ぶ。文字・音声・画像などの信号データをデジタルデータへ変換する基礎的考えやその意味など、情報のデジタル化について学ぶ。	行動観察 ワークシートの分析
	7		コミュニケーションの手段の発展と特徴	・社会の情報化によるコミュニケーションの変化やデザインの進展について、詳しい事例を見ながら学習する。	行動観察
			情報デザイン	・（実習）日本語ワープロ検定試験の問題を用いて文書作成の練習をする。	行動観察 課題の評価
期末考査			・（実習）ソフトウェアWordを用いて、見やすいようなデザインを工夫しながら「学校案内パンフレット」を作成する。	課題の評価	
					期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	4 情報通信ネットワークとデータの活用	ネットワークの仕組み	・インターネットの基本的な仕組みを理解し、検索エンジンなどの活用を通して情報を効率的に検索や収集する方法を習得する。	行動観察
	10		データベース	・（実習）ソフトウェアExcelを用いて集めたデータの集計・処理を行い、分かりやすくまとめる。	行動観察 課題の評価
			データの分析	・（実習）情報処理技能検定試験の表計算の問題を用いて数式や関数の練習をする。	課題の評価
	11	3 コンピュータとプログラミング	コンピュータのしくみ	・コンピュータとその周辺機器の名称・機能について学ぶ。	行動観察 ワークシートの分析
	11		プログラミング	・（実習）アルゴリズムをフローチャートで表現する方法や、プログラミングの言語について学習し、簡単なプログラムを組めるようにする。	課題の評価
	12		モデル化とシミュレーション	・実際の問題を解決するための手順について学ぶ。	行動観察
			期末考査		期末考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3	1		プレゼンテーション	・（実習）ソフトウェアPowerPointを用いて各ページ伝えたい情報について簡潔で見栄えのよい内容・レイアウトを設計し、表現する。また、それを用いて実際にプレゼンテーションを行う。	課題の評価 発表内容
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	情報に関する知識・技能を身につけ、問題の発見・解決に活用する能力を育てる。情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象と情報との結びつきを見考え、情報と情報技術を用いることで適切かつ効率的に問題の発見・解決を行う。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

4 評価の方法

平素の学習活動への参加意欲や課題の取り組み、授業内でのテスト（１・２学期期末）の点数をみて、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の３観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

授業についていけなくならないよう、分からないことや少しでも疑問に思うことがあればすぐに挙手をして担当者や補助の先生に質問をしてください。
授業を受けるにあたっては常に5分前行動を心がけ、時間通りに授業が行えるよう注意してください。また情報室は多くの機械がありますので、飲食をしない、ごみを出さないなど故障の原因となる行動はしないようにお願いします。